



令和3年度(2021年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成



校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第8号

6月は「心のきずなを深める月間」

—いじめを許さない学校・学級を目指して—集団宿泊活動から

1年生は先週8日から1泊2日の日程で集団宿泊活動を実施しました。集団宿泊活動は、特別活動の学校行事の中の旅行・集団宿泊的行事です。そのねらいは「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること」です。当然これに通じるのですが、お世話になった県立天草青年の家で重視されている4つのことがあります。それらは、**規律、共同、友愛、感謝**です。私は出発式、入所式、解団式でこれらの4つを「目標及び振り返りの視点」として話をしました。4つのことが1年生の姿(言動や行動)にどう具現化されるかを期待していました。

規律の例では、おしゃべりしたい気持ちは理解できるとしても、現在の感染拡大を防止する観点から黙食を徹底することがあります。

共同の例では、ペーロンを前に進めるために息を合わせて櫂をこぐことがあります。

友愛の例では、オリエンテーリングなどで班員としてお互いの体調を気に掛けることがあります。

奉仕の例では、トイレや洗面所がリフォームされているとはいえ、来た時よりも美しく清掃して帰ることがあります。

このように具体的な活動をイメージして考えると、**規律、共同、友愛、感謝**が特段難しいことではなく、中学1年生なりに自分事として実感できると思います。

友愛については、本校の校訓にもあります。身近な仲間と**友愛**の精神を持って共に対話的に深く学んでこそ、「いじめを許さない」豊かな心が醸成されると考えています。

いじめを許さない学校づくりのためには、

いじめを許さない学級づくりが基本です

令和2年度熊本県(熊本市小中学校を除く)公立学校「心のアンケート～楽しい学校生活をおくるために～」結果概要から、学級づくりの重要性が確認できます。それは、「いじめられた」相手は全ての校種で「クラスの人」が最も多い結果だったからです。また、「いじめを受けた人は、だれに話をしたか」については、全体として「担任の先生」「家族」「友だち・先輩」へ相談する割合が高く、次いで「養護の先生」「担任・養護以外の先生」が高くなっているからです。

本校では、今月28日から生徒一人一人と学級担任の先生との教育相談を実施します。学校生活内外で気になることは、遠慮することなく是非聴かせてほしいと思います。

生徒と先生のワンチーム天水力で端末(タブレット)を駆使して文書を共同編集

6月の環境月間に合わせて昨日から始まった美化コンクールの実施計画は、3年生の環境委員長と担当の先生が共同で文書を作成しました。お互いの端末(タブレット)からMicrosoft Teamsで共同編集して文書を完成させているのです。鉛筆やノートのように端末を活用して、やり取りしながら計画文書を作成する過程は、「心のきずなを深める」ことにも、本校で目指している「思考力」「発信力」「協働力」の育成にもつながると思います。

◇本校ホームページも随時更新しています。[天水中学校](#)で[検索](#)🔍